

iシェアーズ 月次ETF*資金流入レポート



渡邊 雅史
ブラックロック・ジャパン株式会社
iシェアーズ事業部
ストラテジスト

ETFは世界中で約5000本が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されています。その規模は2兆ドル（約200兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。
**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2014年2月のETF資金流入 ～債券と米国以外の先進国へ～

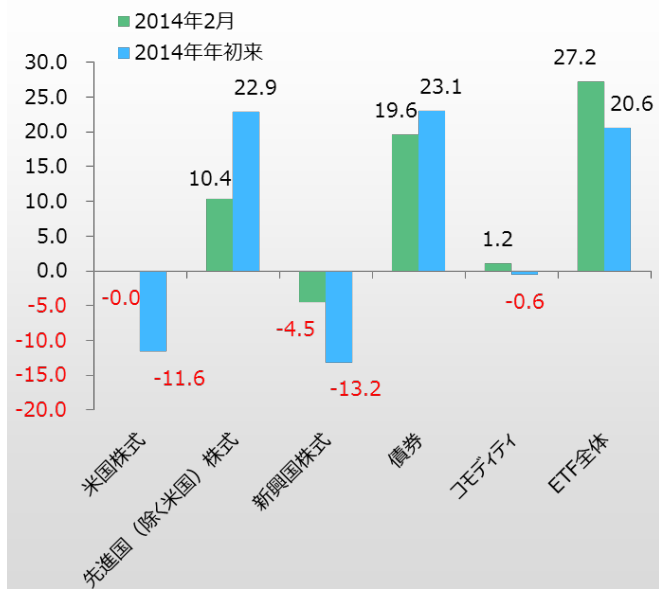
2014年2月のETFへの資金流入は、272億ドル（約2.8兆円）の流入となりました。

米国のISM製造業景況指数が急落したことで、グローバルの経済成長に対する見通しが悪化し、米国株が大幅下落して始まった2月の第一週は米国の株式ETFから大きく資金流出となりました。しかしながら、週末の雇用統計、翌週の債務上限引き上げ法案の可決、およびイエレンFRB新議長の議会証言などが好感された結果、それ以降は米国株ETFへの流入が続き、結果として、2月の米国株への資金流入はほぼフラットとなりました。その一方で、債券のETFには第一週に大きく流入したことで、月間でも約200億ドルの流入が見られました。

米国の株式と債券との間の出入りが激しい中で、日本と欧州を含む先進国ETFへの流入と新興国株式のETFからの流出は相変わらず継続しています。

また、投資家のリスクオフと、米国金利が一本調子で上昇してはいることなどから、昨年を通して流出が続いていた金のETFが、2月はわずかではありますが、流入となりました。

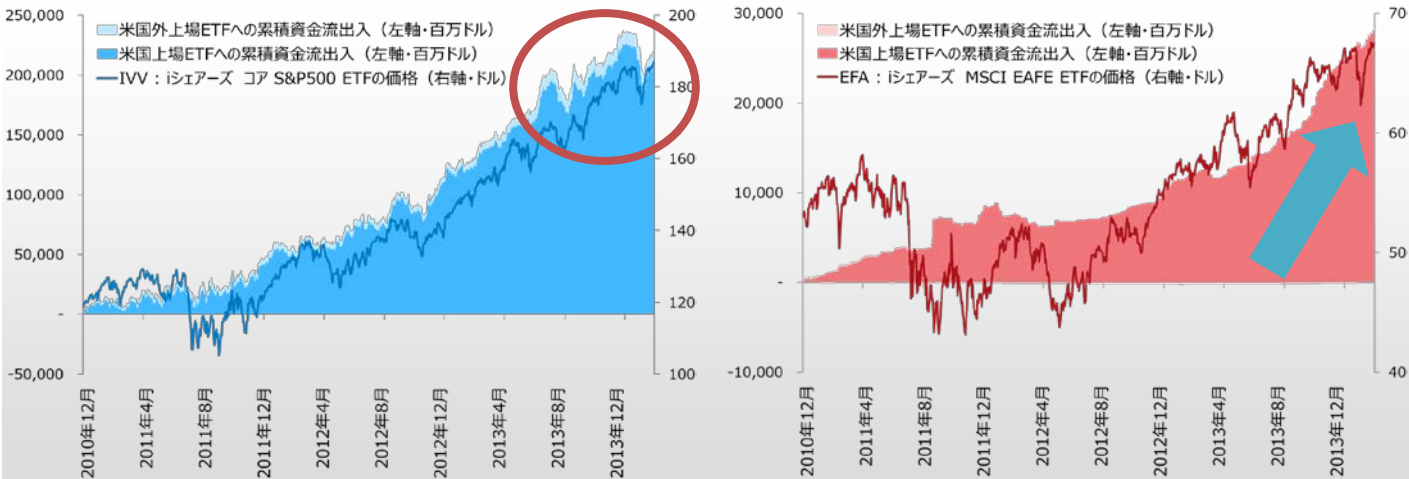
【世界のETFの資金流入（十億ドル）】



出所：ETP Landscape Jan 2014, BlackRock

ETFから見る世界の投資家動向 ～米国投資家の海外投資～

【米国株ETFとグローバル（除く米国）株ETFへの累積資金流出入（米国上場と米国外上場）と価格の動き】



*当該資産を投資対象としている全てのiShares及び10億ドル以上の残高のあるその他のETF（レバレッジ・インバース型を除く）についてブラックロック・ジャパンがデータを集計したものと

出所：ブラックロック・ジャパン、ブルームバーグ

2010年以降、米国株ETFへは堅調に資金が流入してきています。しかしながら、2013年の後半以降の資金流出入の動きを見ると、過去に比べて資金の出入りが激しくなっているのが分かります。投資家は米国株への投資に関しては短期的に出入りを繰り返すようになってきたように思われます。一方で、「グローバル（除く北米）」の株式ETFへの資金流入は勢いを増してきています。この「除く北米」という考え方で投資を行うのは主に米国の投資家であることを加味すると、「米国投資家の海外投資」が活発化してきていると考えられます。

今まで米国株のパフォーマンスは他の地域をアウトパフォームしていたため、米国人投資家は海外に比べると自国をオーバーウェイトの状態にあり、その修正を行っているのではないかと、また、金融緩和の出口戦略に移行している米国と比べると、緩和を推し進めている日本や、まだ緩和余地の残る欧州のほうへ投資を拡大しようとしているのではないかと等、ETFの資金流出入から米国の投資家の投資行動を推察することができます。

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。また、エマージング市場・フロンティア市場への投資では、一般に変動が大きくなります。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://jp.ishares.com/>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110(部代表) <http://jp.ishares.com/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号

加入協会/一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会